

みずほCustomer Desk Report 2024/04/02 号(As of 2024/04/01)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	151.43
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	151.40	1.0793	163.42	1.2639	0.6534
SYD-NY High	151.77	1.0797	163.42	1.2641	0.6538
SYD-NY Low	151.23	1.0731	163.15	1.2625	0.6482
NY 5:00 PM	151.65	1.0742	163.25	1.2627	0.6490
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,566.85	▲ 240.52	日本2年債	0.1900%	0.0100%
NASDAQ	16,396.83	17.37	日本10年債	0.7400%	0.0200%
S&P	5,243.77	▲ 10.58	米国2年債	4.7105%	0.0842%
日経平均	39,803.09	▲ 566.35	米国5年債	4.3260%	0.1074%
TOPIX	2,721.22	▲ 47.40	米国10年債	4.3162%	0.1109%
シカゴ日経先物	40,025.00	▲ 375.00	独10年債	2.2970%	0.0050%
ロンドンFT	-	-	英10年債	3.9210%	▲0.0125%
DAX	-	-	豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	7.94%	0.23%
上海総合	3,077.38	36.21	USDJPY 3M Vol	8.16%	0.03%
NY金	2,236.50	▲ 1.90	USDJPY 6M Vol	8.46%	0.07%
WTI	83.71	0.54	USDJPY 1M 25RR	▲1.28%	Yen Call Over
CRB指数	292.33	2.04	EURJPY 3M Vol	7.84%	0.11%
ドルインデックス	105.02	0.47	EURJPY 6M Vol	8.32%	0.08%

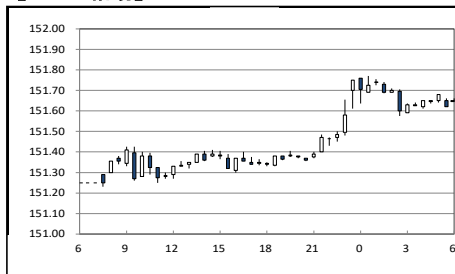
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月1日	10:45	中 Caixin中国製造業PMI	3月 51.1	51.0
	22:45	米 製造業PMI・確報	3月 51.9	52.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	2月 -0.3%	0.7%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 50.3	48.3

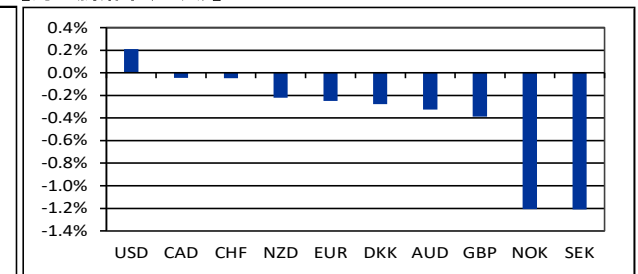
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月2日	16:55	独 製造業PMI・確報	3月 41.6	41.6
	17:00	欧 製造業PMI・確報	3月 45.7	45.7
	21:00	独 CPI(前年比/前月比)・速報	3月 2.2%/0.5%	2.5%/0.4%
	23:00	米 JOLT求人	2月 8730K	8863K
	23:00	米 製造業受注(前月比)	2月 1.0%	-3.6%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	2月 1.4%	1.4%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	2月 -	0.5%
4月3日	01:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.20-152.00	1.0700-1.0800	162.30-163.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、イースター休暇で主要欧州市場が休場の中、動意乏しく推移。その後発表された米ISM製造業景況指数は予想比強くドル買いが優勢となるも、介入警戒感もあり151円後半では頭打ちとなった。依然相場のテーマは金融政策の行方であるが、日米共に次の金融政策変更までは期間を要すると目され、現状の日米金利差を背景としたドル買い需要は依然強い。新NISAによる外株買いフローの憶測もドル円相場の押し上げ要因。ただ152円手前では介入警戒感が高まるため、これら綱引きの展開が当面続くだろう。

東京	東京時間のドル円は151.40レベルでオープン。仲値にかけてやや上昇するも、その後すぐ失速し151.25まで下落。イースター休日につき市場参加者は少なく動意に乏しい展開が続き、151円台前半で小幅推移。結局、151.32レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円前半でスタート。日銀が発表した3月短観・大企業製造業景況判断指数は予想を上回るも、ドル円は反応薄。その後は、多くの海外市場がイースター休暇で休場しているため、151.40付近での動意乏しい推移が続き、151.40レベルでNYオープン。午前中に発表された米3月ISM製造業景況指数ヘッドラインが予想を上回った他、構成項目の支払価格と新規受注も予想以上の伸びを見せる等強い結果を受けてドル買い優勢となり、151.77まで上昇する。しかし、その後は為替介入への警戒感からか、それ以上の上値追いは限定的で、伸び悩む展開。午後は買い一巡となり、151.60付近まで小幅反落し、151.65レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。欧州市場がイースター休暇で閑散な取引となり、1.0790付近でほぼ横ばいで推移し、1.0784レベルでNYオープン。午前中は強い米ISM製造業の結果を受け、ドル買い地合いが重しとなり、1.0731まで下落する。午後は下げ渋り、小幅反発し、1.0742レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。